

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	ヒト介入試験プラットフォームの構築		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の健康食品関連の企業等が、県内で食資源等の機能性検証(ヒト介入試験)を恒常的・経済的に利用できるよう、県内大学等を中心に体制を構築する。	県,事業者,大学等,支援機関	大学等におけるヒト介入試験プラットフォームの構築支援		
		ヒト介入試験の実証件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ヒト介入試験プラットフォーム構築事業			予算事業名	ヒト介入試験プラットフォーム構築事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	—	29,797	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	28,487
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
実施主体となる共同企業体を公募し審査の上、1件採択した。ヒト介入試験の実証に必要な県産健康食品を選定し、ヒト介入試験を実施した。				引き続き、ヒト介入試験の実証に必要な連携体制の構築を行うため、県産健康食品を新たに選定し、県内大学等を中心としたヒト介入試験を実施する。		

活動指標名	ヒト介入試験の実証件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	1件	1件	100.0%	順調	ヒト介入試験の実証に必要な連携体制の構築を行うため、県産健康食品を選定し、県内大学等を中心としたヒト介入試験を1件実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度は計画通りの実績であったことから順調と判断した。                      主な取組としては県産健康食品のヒト介入試験について倫理審査委員会にて承認を得た後、ヒト介入試験を1件実施した。被験者を選定後、介入期間を8週間と設定し、空腹時血糖値・中性脂肪等に対する影響評価を調査した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>県内企業でも経済的に当プラットフォームを利用できるようヒト介入試験の実証を通じて、1件当たりの試験費用の低減について検討を行っている。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>委託している共同研究について、プラットフォーム構築に向けて外部有識者からの意見を取り込む必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>委託している共同研究に対し、年度末に外部有識者等からなる評価委員会を開催し、改善点等について意見を聴取し、研究内容に反映する。</p>